

Title	穂積博士還暦祝賀會
Author(s)	小川, 郷太郎
Citation	經濟論叢 (1915), 1(2): 306-308
Issue Date	1915
URL	http://dx.doi.org/10.14989/126875
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號二第 卷一第

論說

- 大藏省證券ヲ論ズ
- 夫婦婚姻年齡ノ組合セ
- でゲゐつゝひゆるむノ經濟學說ニ

雜錄

- 下層金融ト國民性
- 英吉利ノ農政問題ニ
- 米ノ豐凶ト米價
- まるさす人口論以下各版ノ差異

雜報

- 佛國ニ於ケル人口趨勢ト之ニ對スルノ政策
- 對露貿易伸張ノ餘地
- 電氣事業ノ國家獨占
- 職業ノ分歧併合ノ一例
- 穗積博士還曆祝賀會
- れきしす教授逝ク
- 帝國人口統計ノ描畫圖

法學博士 小川郷太郎

教授 財部靜治

法學博士 福田德三

法學博士 神戸正雄

助教授 河田嗣郎

講師 高田保馬

法學博士 河上肇

法學博士 神戸正雄

助教授 河田嗣郎

法學博士 神戸正雄

法學博士 本庄榮治郎

法學博士 小川郷太郎

教授 財部靜治

教授 財部靜治

大正四年十一月三十日

五版 禁轉載

穂積博士還曆祝賀會

法學博士 小川 郷太郎

法學博士穂積陳重先生ハ、去ル七月十一日ヲ以テ還曆ニ達セラレタノデ、其祝賀會ヲ同日上野精養軒ニ開イタ、先生ハ東大ノ塾長ニ立タレタコト約二十年デアツタ、其薰陶ヲ受ケタ弟子

ハ幾千ト云フヲ知ラナイホドデ、今皆朝野ノ要所要所ヲ占メテ居ル。先生ハ法律ハ進步發展スルモノデアルト云フ考デ、法律ヲ歴史のニ、比較的ニ、實證的ニ、研究セラレテ居ル、歴史の比較的實證的ニ研究スルト云フ先生ノ此學風ハ獨リ我國ノ法學界ニ非常ナル影響ヲ及ボシタノミデハナク、又經濟學界ヲ刺激シタコト少カラヌ、先生ノ研究ニ成ツタ著書デ最モ世ニアラハレタルモノハ祖先崇拜ト我國ノ法律デアリ又最近第二版トシテ公ニセラレタ隱居論デアラウガ、是レ皆萬世不朽ノ文字デ、嘗ニ我學界ノミナラズ世界ノ學界ニ貢獻スルコト頗ル大ナルモノデアルト云ハネバナラヌ、此ク思フ來レハ先生ノ教育界法學界ニ盡サレタル效績實ニ大ナルモノガアル、還曆祝賀會ハ一面ニ於テハ此效績ヲ表彰スル會トデモイツテヨイ、ソコデ祝賀會ハ學界ノ出來事トシテ傳ヘチバナラヌ

祝賀會ハ先生ノ創立ニナツタ法理研究會創立二十年紀念式ヲ兼チルコトニナツタ、其席上デハ和田講伯ノ筆ニ成ツタ先生ノ油繪肖像ヲ先生

ニ贈呈シ、東西兩大學ノ教官有志ノモノノ手ニ成ツタ紀念論文集ヲ捧呈スルコトニシタ、チヨシト見ルト質素ノ祝賀會ノヤウデアアルガ實ハ精神ノ籠ツタ祝賀會デアアル

我京大法科大學ノ職員ハ初ヨリ東大法科大學ノ職員ト相呼應シテ此祝賀會ヲ催フスコトニ與ツテ居リ、多クノ人ハ又紀念論文集ニ筆ヲ執ツタ、祝賀會ニハ仁保、石坂、二教授并ニ余ガ態々上京シテ之ニ列席シタ、是皆我京都大學カ一世ノ宿學ニ對シテ表シタル敬禮デアアル

祝賀會ハ四時ヨリ開カレタガ會スルモノハ二百七十名ノ多キニ達シタ、何レモ皆當世知名ノ士ヲアツタガ中ニモ一木文相、山川東大總長其他文部并ニ大學側ノ人、加藤男、末松子、菊池男等ノ樞密顧問官、澁澤男、加藤氏等ノ實業家長岡外史氏ノ如キ軍人、阪谷男、奥田博士ノ如キ行政家、元田肇、花井卓藏氏ノ如キ政黨ノ豪ノ者カ來リテ一堂ニ會シテ居ツタノガ目ニ付イタ

五時ニ精養軒ノ庭デ一同撮映シ、五時半ニナツテ祝賀會ノ式カ初マツタ、濱尾男座長ノ席ニ

就カレタカト見ル間ニ、岡野博士ガ起テ事業經過ヲ報告セラレ次ニ奥田博士起テ發起人ヲ代表シテ挨拶セラレ、且ツ油繪肖像贈呈ノ辭ヲ述ヘラレ、仁保博士ハ法理研究會委員トシテ挨拶セラレ、且ツ紀念論文集捧呈ノ辭ヲ述ヘラレタ、其論文集一部ヲ先生ニ捧呈シ先生カ起テ之ヲ受取ラレタルトキハ拍手堂ヲ動カシタ

次ニ一木文相、山川大學總長、菊池學士院長カ相次テ祝辭ヲ述ヘラレ、山川總長ハ六十八老ニアラス今後愈々奮勵學界ノ爲メニ盡セヨト言フ様ノ趣旨ヲ述ヘラレタガ菊池男ハ六十八老ナルカ故ニ老ヲ自覺シテ大ニ奮勵セヨト言フ様ノ意味ヲ述ヘラレタ

最後ニ種積博士ハ起テ先ツ祝賀會ノ催ニ就テ謝セラレ、油繪肖像ハ長ク子孫ニ傳フベシトテ謝セラレ、浩澣ナル紀念論文集ハ學者トシテ受クベキ此上ナキ贈物ナリトテ謝セラレ、更ニ今日意外ニ多數ノ人ノ集マレルヲ見、非常ニ感ニ打ラレタト說カレ、是レ偏ニ長ク學職ニ居ツタ結果ダト思ヒ教育ニ從事スルノ樂ハ他ニ代ヘ難

イモノダト論セラレタ後、一轉シテ老人論ニ入
ラレ、語ヲ繼テイハルル様

山川總長ノ六十ハ老ニアラズト云ハルルハ齋殺セヨト云フ獎
勵ノ意味ニ解スルコトカ出來、菊池男ノ六十ハ老人ナリト云
ハルルハ警戒セヨト云フ意味ニ解スベキカト思ハル、二説ハ
反對セルモノデナイ、併シ自分ハ菊池説ニ從ヒ六十ハ老ナリ
ト云ヒタイ、三浦博士ノ説ニヨレハ四十トナレハ肉體ノ組織
ハ變直スルト云フコトデアル、四十ハ老ノ始マリデアル、六十
ハ既ニ老境ニ達シテ居ルト云ハチハナラヌ
愚フニ老年ニ伴フ危險ハ少クナイ、第一ニハ記憶力減スル、第
二ニハ耐忍力が乏シクナル、第三ニハ推理力が減スル、第四ニ
ハ新事物ニ適應スル力ガナクナリ頑固ニナル、第五ニハ自貢
心カ増大スル、ソレダカラ老人程恐ルベキモノハナイ、還暦ト
云フト老境ニ入ツタモノデアル、警戒期ニ達シタモノデアル、
故ニ今日ノ會ハ警告會デアル、之ト同時ニ長ク働ケトノ獎勵
ノ意味モ加ハリテ居ルトシテ獎勵會ヲ兼テ居ルト云ハチハナ
ラヌ、自分ハ此警戒獎勵ノ趣旨ヲ長ク體シテ過ナカラシメト
テ期シタイ、終ニ臨テ重テ感謝ノ意ヲ表スルト
結ハレタ時ニ七時半、乃チ席ヲ移シテ宴會ニ入ツタ、宴會ニシ
テ濱尾男ハ起テ挨拶セラレ一同ヲ促シテ乾杯シテ穗積先生ノ健
康ヲ祝シ、次テ富井博士起チ、横田ハ審院長起チ、澁澤男起チ、
交々廣傳談ヤラ、祝辭ヤラ、所感ヤラヲ述ヘラレタ、土方博士ハ
英京倫敦ヨリ着シタ電報ヲ讀ミ上ケラレタ、森賢吾氏外二十八
名ガ穗積先生ノ還暦ヲ祝シテ來タモノデアル、天涯萬里五ニ相
見ルコトハ出來ナイガ思ハ同シタ、考ハ相會シテ居ルト云フコ
トヲ感セサルヲ得ナカツタ、最後ニ先生ハ起タレ又々感謝ノ意
ヲ述ヘラレタ、是ニ於テ宴會撤シテ次ノ室ニ移ツタ、上野ノ鐘ノ
十時ヲ點スルヲ聞キツ、人ハ思ヒ思ヒニ去ツタ